

平成七年度

鈴木清見市長の 施政方針



10月4日オープン予定の中央図書館正面

富士市の未来のために

鈴木清見市長は、富士市の未来を担う子供たちのために健康で、明るく、住みやすいまちづくりを進めるため、「未来につなぐ人間都市『富士』」を市政運営の基本理念として、市民の思いや願いが随所に生きる市政を推進していきます。

新年度は、未来へ橋渡しするための「継承と新たな創造を考える節目の年」。平成八年度から始まる「ふじ二十一世紀プラン」後期基本計画と「富士三十年構想」の策定に引き続いて取り組み、新たな二十一世紀のまちづくりの方向性を定めていきます。

新年度に取り組む事業の中で、まず第一に挙げられるのは、地域防災計画の見直しです。一月十七日に起きた阪神・淡路大震災は、想像を絶する戦後最大の地震災害となり、都市直下型地震の恐ろしさを思い知らされました。それを教訓として、新たな視点から防災対策を見直していきます。

そのほかの具体的な新年度事業は、市民プールの移転建設や第二清掃工場（し尿処理施設）の建設、広見公園の整備事業などがあります。

今回は、新年度の事業を五つの施策に沿ってお知らせします。

平成七年度は

継承と新たな創造を考える節目の年

富士

未来につなぐ人間都市

支える5本の柱(新年度施策)

自然や生活環境を守り、

健康で安心して

暮らせるまちづくり

◎自然や生活環境を守り、健康で安心して暮らせるまちづくり

◎第二清掃工場の建設

最新し尿処理方法を採用したプラントを建設します。

◎一般廃棄物最終処分場の建設

◎フロンガス対策事業

廃棄された冷蔵庫などからのフロンガス回収などを行います。

◎広見公園の整備

記念モニュメントの製作など、平成八年度の完成を目指して積極的に整備します。

◎霊園基本計画の策定

市営霊園の計画をつくりします。

◎保健予防対策

予防対策と健康づくりを推進します。

◎中央病院のサービス向上

中央病院に総合情報システムを導入するための準備を進めます。

思いやりと生きがいのある福祉のまちづくり

◎高齢者福祉施設の整備

特別養護老人ホームなどの設置に対して助成を行います。

◎在宅福祉対策

ホームヘルパーをふやし、デイサービス(日帰りサービス)やショートステイ(短期入所)などの事業に力を注ぎます。

◎障害者の福祉対策

身体障害者療護施設や、心身障害者小規模授産所の整備に取り組みます。

◎保育園子育て支援事業

保育園を地域の拠点として、子育てを支援します。

文化性豊かな

ひとづくり、まちづくり

◎新しい中央図書館の開館

ことし十月のオープンに向けて、準備を進めます。

◎市民プールの移転建設

平成八年六月のオープンを目指し、工事を始めます。

◎こどもの国の建設

子供が、自然の中で夢を育てられるような施設を目指します。

◎義務教育施設の整備

(仮称)広見第二小の用地取得など、快適で豊かな教育環境づくりに努めます。

◎公民館事業

生涯学習や交流の場となつている公民館の運営に力を注ぎます。

◎国際交流

オーシャンサイド市や嘉興市との友好親善を図ります。

安全で快適な

都市づくり

◎地域防災計画の見直し

阪神・淡路大震災を教訓に、地域防災計画の見直しや、避難路・避難地を整備します。

◎地震・津波情報システムの整備

地震・津波緊急警報受信装置を設置します。

◎新富士駅周辺の調査

岳南広域都市の拠点を目指し、

新富士駅周辺の整備調査を進めます。

◎富士駅周辺の土地区画整理

駅前広場などを整備します。

◎第一東名自動車道の沿線整備

第二東名自動車道沿線地域の整備計画や、インター周辺の土地利用計画について検討します。

◎都市計画道路の新設改良

◎上・下水道の整備

◎市営住宅の整備

吉原団地の建てかえなど、市営住宅の整備を進めます。

◎コミュニティの推進

公会堂の施設整備や、まちづくり推進事業への助成を行います。

活力に満ちた

産業のまちづくり

◎PS灰有効利用促進事業

PS灰(ペーパーラスラジック焼却灰)を土質材として有効利用するための実用化試験を進めます。

◎農業の振興

「富士のやぶ北茶」のPRや、土地改良事業に力を注ぎます。

◎林業の振興

高密度林道網の整備を進めます。

◎中小企業対策

小口資金や季節資金融資など、中小企業への支援を行います。

◎観光事業

須津川渓谷を整備するほか、「口マンと泉の郷」などの観光PRに努めます。

◎商業の振興

地元商店(産品)愛用運動などを支援します。